

射水市の備蓄計画

1 市の基本的方針

本市地域防災計画においては、災害時に必要となる食料等の生活必需品に係る備蓄は「個人で備蓄しておくことを基本とする」としている。このことを踏まえ、原則、県の備蓄の考え方に準じ、避難所生活に最低限必要となる 3 日間分の食料や生活必需品等の備蓄を次のとおり行う。

(1) 県の考え方（富山県備蓄計画）

ア 対象人数

被害想定（呉羽山断層帯地震）による 4 日後避難所避難者数 311,018 人のうち、建物の全壊により、避難時に非常食を持ち出すことができない者

77,755 人 $(311,018 \text{ 人} \times 25\% ※)$

※ 全壊 90,424 / $(\text{全壊 } 90,424 + \text{半壊 } 273,752) \div 25\%$

イ 備蓄割合

備蓄主体	方法	割合	備蓄対象人員数
県	現物備蓄	30%	23,327 人
	流通備蓄	20%	15,551 人
市	市町村備蓄	40%	31,102 人
	その他（応援）	10%	7,775 人
計		100%	77,755 人

(2) 市の考え方

ア 対象人数

県備蓄計画の考え方に準じた、本市地域防災計画の内容を踏まえた対象人数

22,864 人 $(44,830 \text{ 人} \cdots ① \times 51\% ※)$

※ 全壊 27,419 / $(\text{全壊 } 27,419 \cdots ② + \text{半壊 } 25,908 \cdots ③) \div 51\%$

本市地域防災計画（第 1 編総則、第 5 節災害想定と危険性の表より）

① 被害想定（呉羽山断層帯地震）による 4 日後避難所避難者数 44,830 人

② 建物全壊 27,419 棟

③ 建物半壊 25,908 棟

イ 備蓄割合

・ 食 料

県備蓄計画の備蓄割合に準じ、市備蓄 40%のうち 20%を流通備蓄にて確保することとし、対象人数の 20%を現物備蓄する。

・ 毛布、敷マット、トイレ

対象人数の 40%を現物備蓄する。

・ おむつ、生理用品

対象人数に該当割合を乗じた数の 50%を現物備蓄する。

ウ 備蓄目標及び備蓄数

・ 食 料

$22,864 \text{ 人} \times 20\% \times 3 \text{ 食} \times 3 \text{ 日} \div 42,000 \text{ 食}$ (備蓄数 40,992 食)

・ 毛 布、敷マット

$22,864 \text{ 人} \times 40\% \times 1 \text{ 枚/人} \div 9,500 \text{ 枚}$
(備蓄数 毛布：9,507 枚、敷マット 9,502 枚)

・ トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）

$22,864 \text{ 人} \times 40\% \times 5 \text{ 回/日} \times \text{※1} \times 3 \text{ 日} \div 137,500 \text{ 個}$ (備蓄数 72,579 個)

※1:国ガイドラインに基づく 1 人 1 日当たりの排泄回数を踏まえ、令和 8 年度に 3 回/日（目標計 82,500 個）から 5 回/日（目標計 137,500 個）に変更

・ おむつ

子ども用

$22,864 \text{ 人} \times 1.9\% \times \text{※2} \times 8 \text{ 枚/日} \times 3 \text{ 日} \times 50\% \div 5,210 \text{ 枚}$ (備蓄数 5,456 枚)

※2:0 歳～2 歳人口比率

大人用

$22,864 \text{ 人} \times 0.005 \times \text{※3} \times 8 \text{ 枚/日} \times 3 \text{ 日} \times 50\% \div 1,370 \text{ 枚}$ (備蓄数 1,560 枚)

※3:避難所における要介護高齢者比率

・ 生理用品

$22,864 \text{ 人} \times 21\% \times \text{※4} \times 30 \text{ 枚/期間} \times 1/7 \times \text{※5} \times 1/4 \times \text{※6} \times 3 \text{ 日} \times 50\% \div 7,717 \text{ 枚}$

※4:12 歳～51 歳女性人口比率 ※5:生理期間 1 日当たり必要量 ※6:生理期間 4 週に 1 回想定
(備蓄数 9,392 枚)

(3) 避難所生活環境改善に係る備蓄

パーティションやダンボールベッド等の避難所生活環境改善に係る備蓄品については、適宜、整備に努めるとともに、今後の整備予定を踏まえた数を目標とする。

・ パーティション 目標数 1,131 個 (備蓄数 831 個)

・ ダンボールベッド 目標数 400 個 (備蓄数 100 個)

2 その他

被害想定の変更など、必要に応じて内容の見直しを行うこととする。